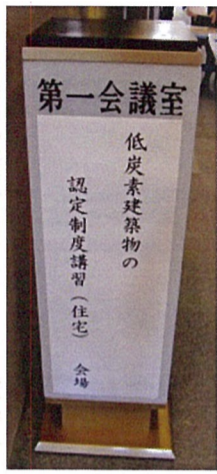




前回の冬号で掲載致しました『低炭素住宅講習と省エネ建築診断士試験』の内容と結果報告

低炭素建築物の認定制度講習



2012年11月28日に秋田で行われた講習に参加してきました。2020年（平成32年）までに新築住宅・建築物の省エネルギー基準への適合を段階的に義務化する目標が国策で掲げられました。新築住宅を建てるにはまず、現在の省エネルギー基準から更に一次消費エネルギーの10%以上の削減に加え、HEMSの導入・節水対策・木材の利用・ヒートアイランド対策の中から2項目を行う必要があります。弊社の高気密・高断熱住宅では現時点で、ほぼ2項目以上クリアしています。今後も弊社がつくる家が、健康で省エネな住宅により進化していく為に、これからもたくさんの講習に参加したいと思います。

省エネ建築診断士試験

2012年11月29日～30日に山形の東北芸術大学で行われた社団法人パッシブハウスジャパン主催の【第7回省エネ診断士セミナー】に弊社から2名参加しました。

ドイツ省エネ住宅のスタンダード「パッシブハウス」についての講習を受け省エネ住宅設計の基本となる熱損失計算方法や気密性能と通風の必要性、効率良く建物の省エネ性能と居住性を高める方法を学びました。そしてセミナー中に行われた試験にも無事2名共合格し『省エネ建築診断士』の認定を受ける事が出来ました。今回修得した知識を生かしてお客様により快適でエネルギー効率の良い家をご提案できればと考えています。



2月17日（日）に開催致しました「健康で省エネな住まいの作り方」講演会には、100名以上の方にお申込みを頂きました。ご参加下さいました方々に心より感謝申し上げます。今後も、皆様の住まいづくりのお役に立てる様な講演会を考えて開催していきたいと思っております。またお気軽にご参加下さい。



【講演会の様子】

トドのひとり言 *ぶつぶつ...*

健康で長生きするには

2月17日『健康で省エネな住まいの作り方』講演会は多数のお客様が参加して下さいまして、盛況に行うことが出来ました。感謝申し上げます。近畿大学建築学部学部長の岩前篤教授講演の内容を要約しますと

- 家の断熱が健康改善に貢献度が高い
- 断熱性にすぐれた家は体感温度がアップする
- 温度差の解消が住環境を改善する
- 病気も家庭内事故も冬に多い
- 冬場の寝室の温度は10℃前後が多い
- 冬寒い家は健康に害する
- 断熱性の高い家は健康・省エネのダブルの魅力・・・等々

他にも色々ありますが、断熱性の高い家を建てるのが健康のヒケツのようです。三和住建が18年前から進めているLIXILの高気密・高断熱住宅スーパーウォール（以下、SWと言う）工法は、まさにこの条件にピッタリの家です。当日、13年前にこのSWで建築されたお客様が来場され、快適に暮らしていると聞き、嬉しく思いました。三和住建のお客様に進めてきた、SW工法の住宅は間違いでなかったと確信すると共に、今後もより一層高気密・高断熱工法の家造りに努力し、三和住建のお客様はPPK（ピンピンコロリ）で元気に長生きしていただきたいと思っております。